





ご説明・ご案内をして頂いた

大船渡地区消防組合消防本部庶務課庶務課長

救急救命士 消防司令 新沼永悦様



### AED 使用のデモンストレーション

倒れている人を発見したら声をかけ反応の有無を確認

周囲にいる人に、救急車の手配と AED を取りに行くことを指示

胸と腹部の動きを 10 秒以内で確認（呼吸の有無確認）

反応がなければ胸の真ん中を圧迫する。

人工呼吸が可能なら胸骨圧迫 30 人工呼吸 2 回の組み合わせで  
処置を行う。

AED が到着したら、音声ガイドに従い使用する。

その際、周囲の人に傷病者から離れるように指示する。



蘇生の確率は心停止から 1 分ごとに 7%から 10%下がってしまう  
ため、心肺停止状態の人を発見した時はすぐに救急車を呼び、救急  
車が到着するまでの時間にできるかぎり速やかに心肺蘇生を行う  
事で、救命率を上昇させることができます。



大船渡に防潮堤の水門を遠隔操作するシステム。

現在は合足海岸で運用しているそうですが今後増える予定。



指令センター

免震構造になっております。



### ★ 大西竜介職業奉仕委員長



本日は大船渡市防災センターにお邪魔させて頂きました。

消防署の皆様には、受け入れいただき誠にありがとうございます。

新しくできましたこの防災センターは東日本大震災など過去の大きな災害を教訓に盛り込まれているそうです。

本日の見学で会員の皆様の職場で防災意識の向上を図って頂ければと思い今日の職場見学を企画致しました。消防署の皆様には市民の生命財産を守るという使命があると思います。我々市民の側は、だから安心できると言えます。今日の参加者の中にも消防団員の経験者が何人もいます。地域での自主防災は重要ですが、やはり訓練を積んだプロがいるからこそその安心があります。

市民の生命財産を守るという使命を果たしている関係者に敬意を表して簡単な挨拶で恐縮ですが挨拶を終わらせて頂きます。